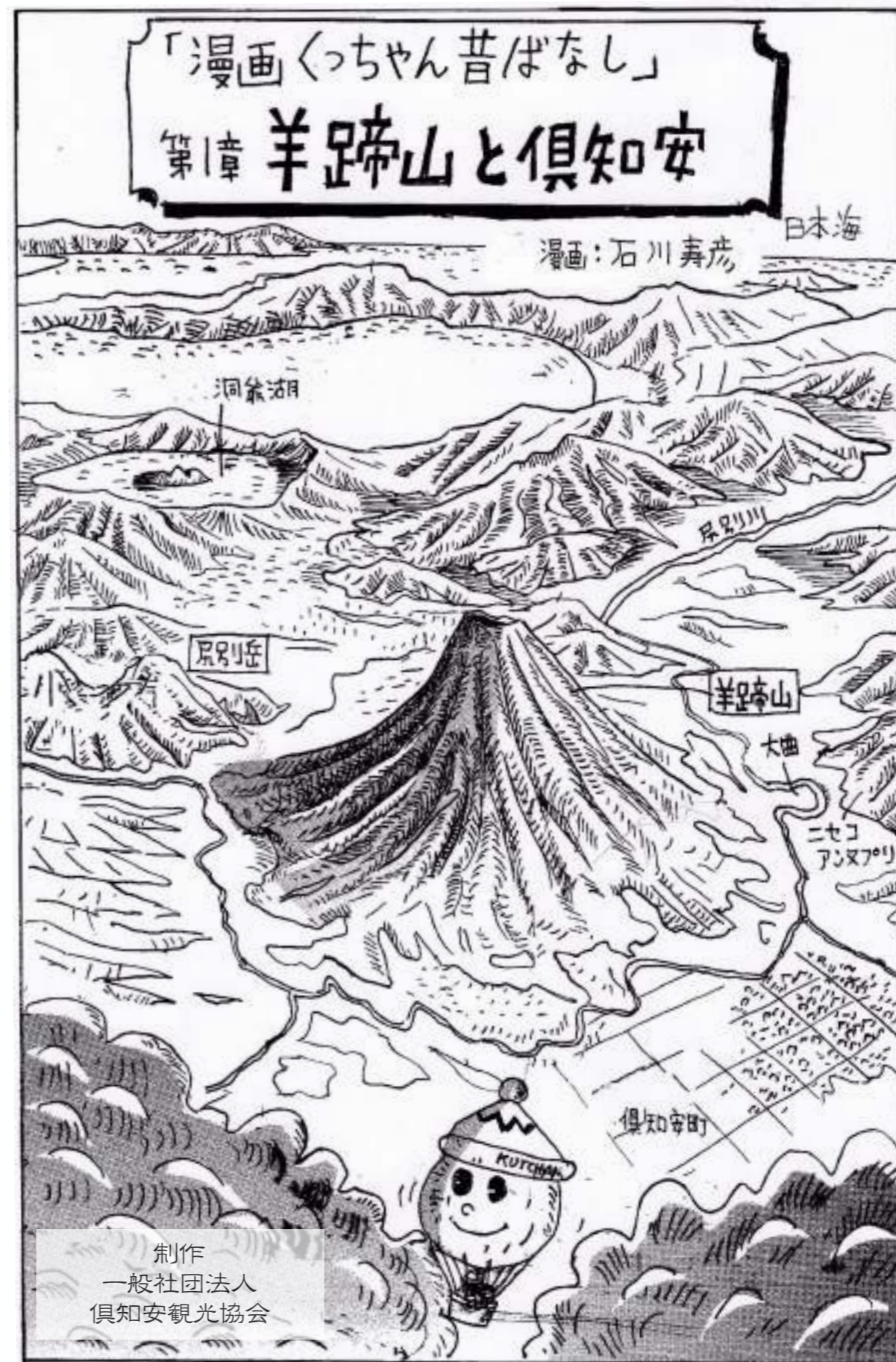


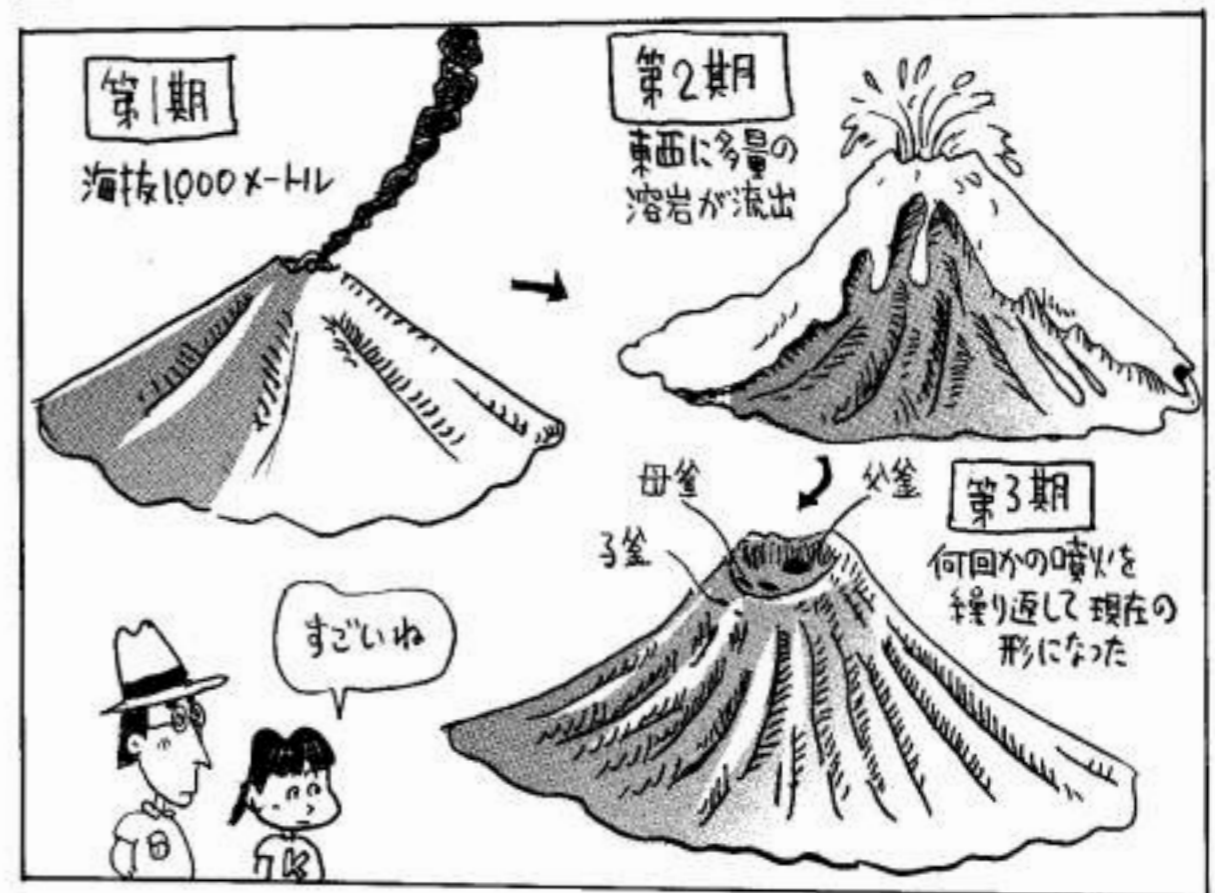
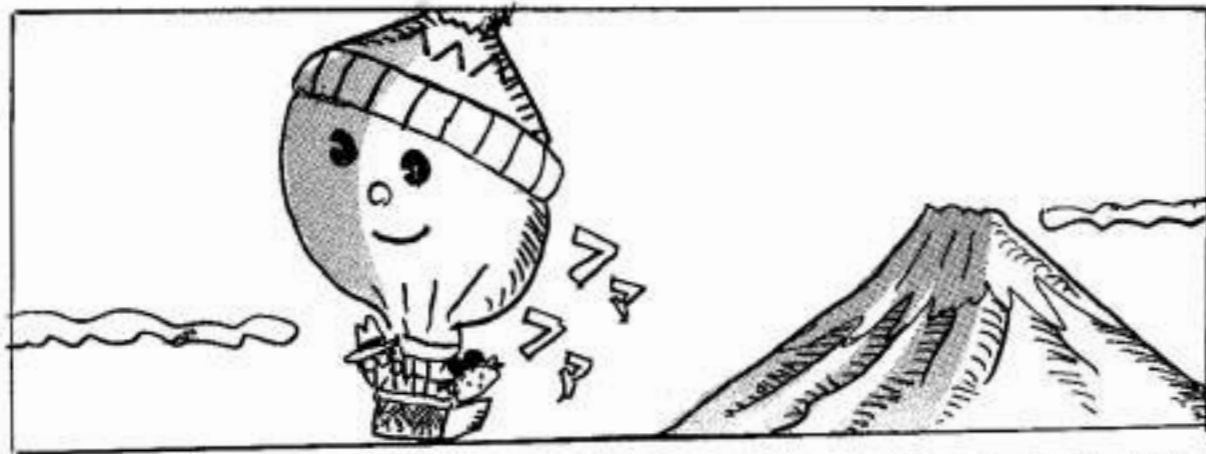


漫画くっちゃん昔ばなし  
第1章  
「羊蹄山と倶知安」

©2017一般社団法人倶知安観光協会









「羊蹄山」の名前ほど古来から複雑な経緯をたどってきた山はありません。その記述は「日本書紀」に始まります。

西暦659年に齊明天皇の命により安倍比羅夫が北方の蝦夷(えみし)をおさめるために今の北海道にやってきました。

味方の蝦夷から「後方 羊蹄をもつ政所(まんどころ)とすめられた」と記されていました。

当時は「後方」を「シリ」 「羊蹄」は「し」と読んだそうだ。

むずかしいだね。

阿倍比羅夫  
齊明天皇に仕えた将軍。倶知安町の「ヒラマシ」はこの人物に由来する。

1844年(弘化元年)蝦夷地(今の北海道)に来た探検家 松浦武四郎がこの山を「蝦夷富士」または「羊蹄山」とみとめ、その後「ようていざん」という名前が定着した。

江戸期の古地図では「羊蹄山」を「尻別岳」と書いてある例も目立ちます。

しかしアイヌの人々は明石崖に区別しています。

「羊蹄山」は「マツリヌシリ」または「マフネシリ」(女である山)そして「尻別岳」は「ヒンネシリ」(男である山)とされていました。

小さい尻別岳が「男山」で大きな羊蹄山を「女山」というのは面白いよね。

ところで倶知安はアイヌ語でどういう意味なの？

やっぱり来たね「クツヤアンナイ」(猟師の小屋のある沢)を意味する説と「クツサムウンポツ」(岩崖の傍にある)という説がある。

羊蹄山と二セコ火山群

日本海

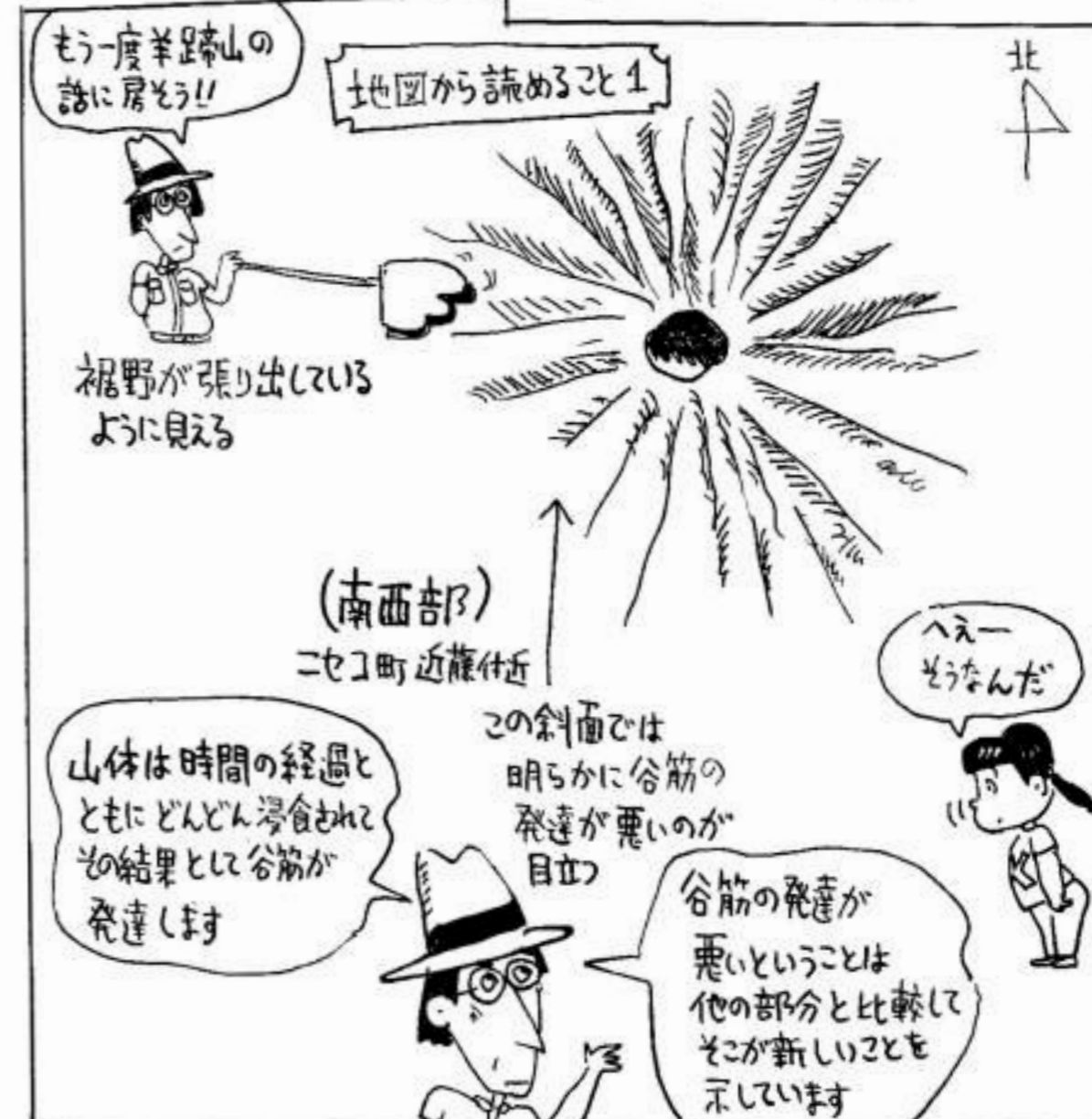
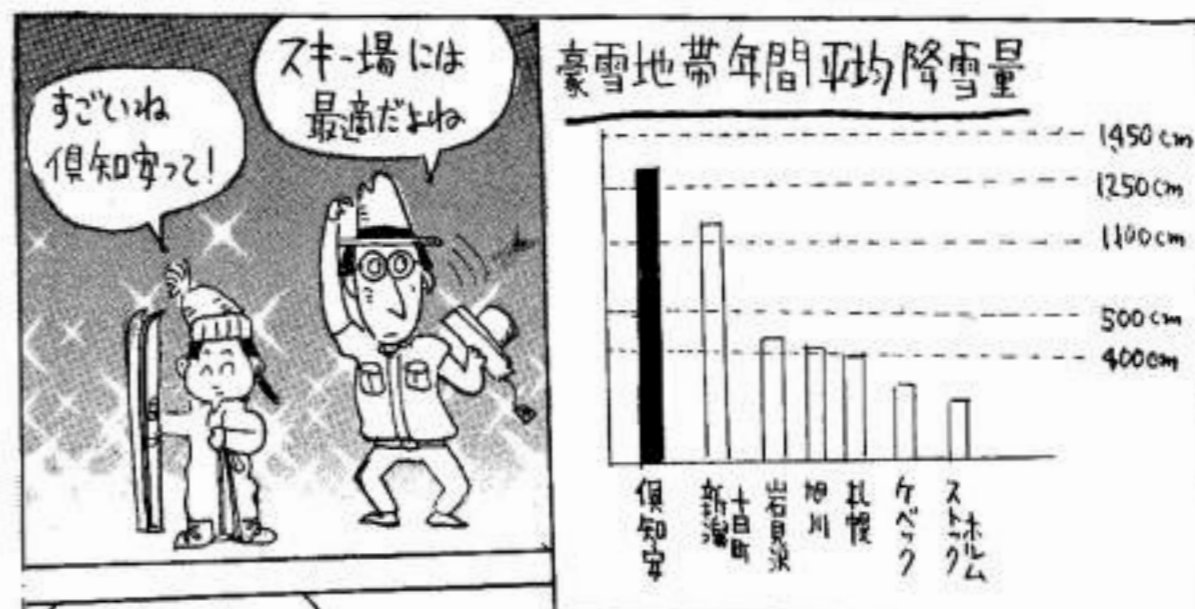
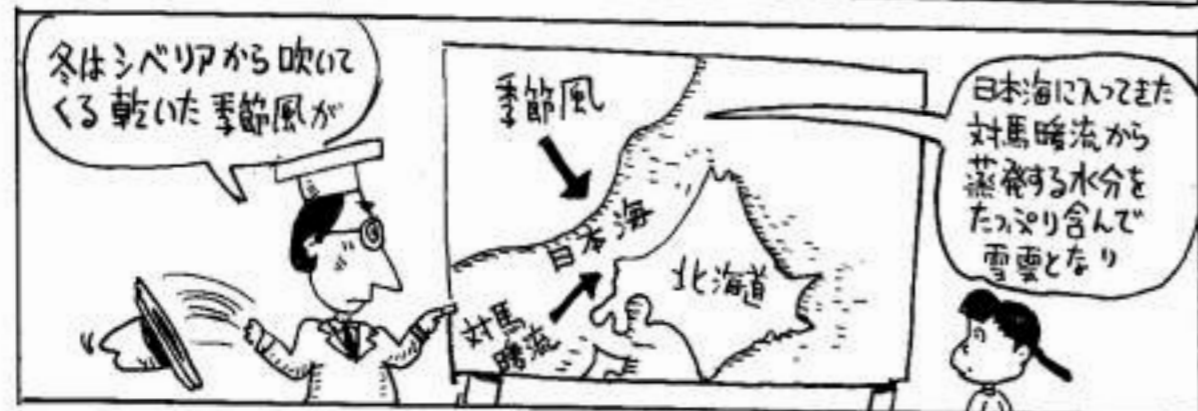
羊蹄山と二セコ火山群はほぼ一直線に並んでいるのが分かるよね。

イナカ岳 (1074) 4セマツ (1134) イワヌツ (1116) ニセコヌツ (1308.2) 羊蹄山 (1898) 尻別岳 (1107)

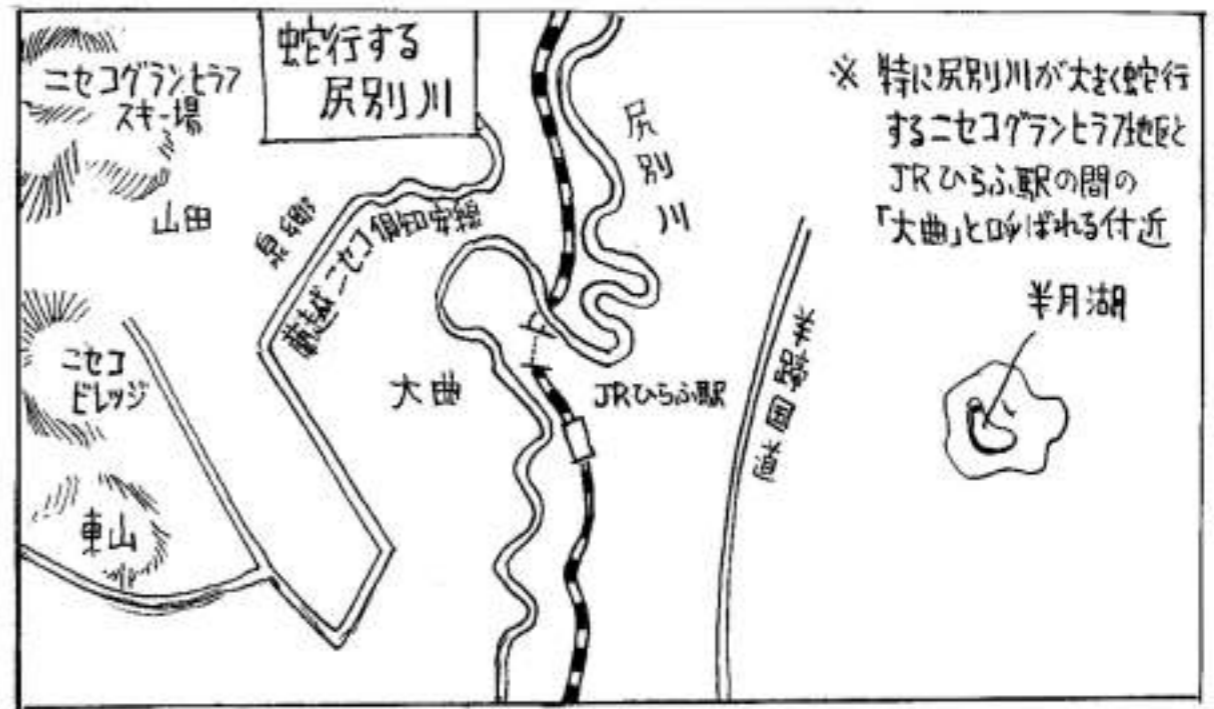
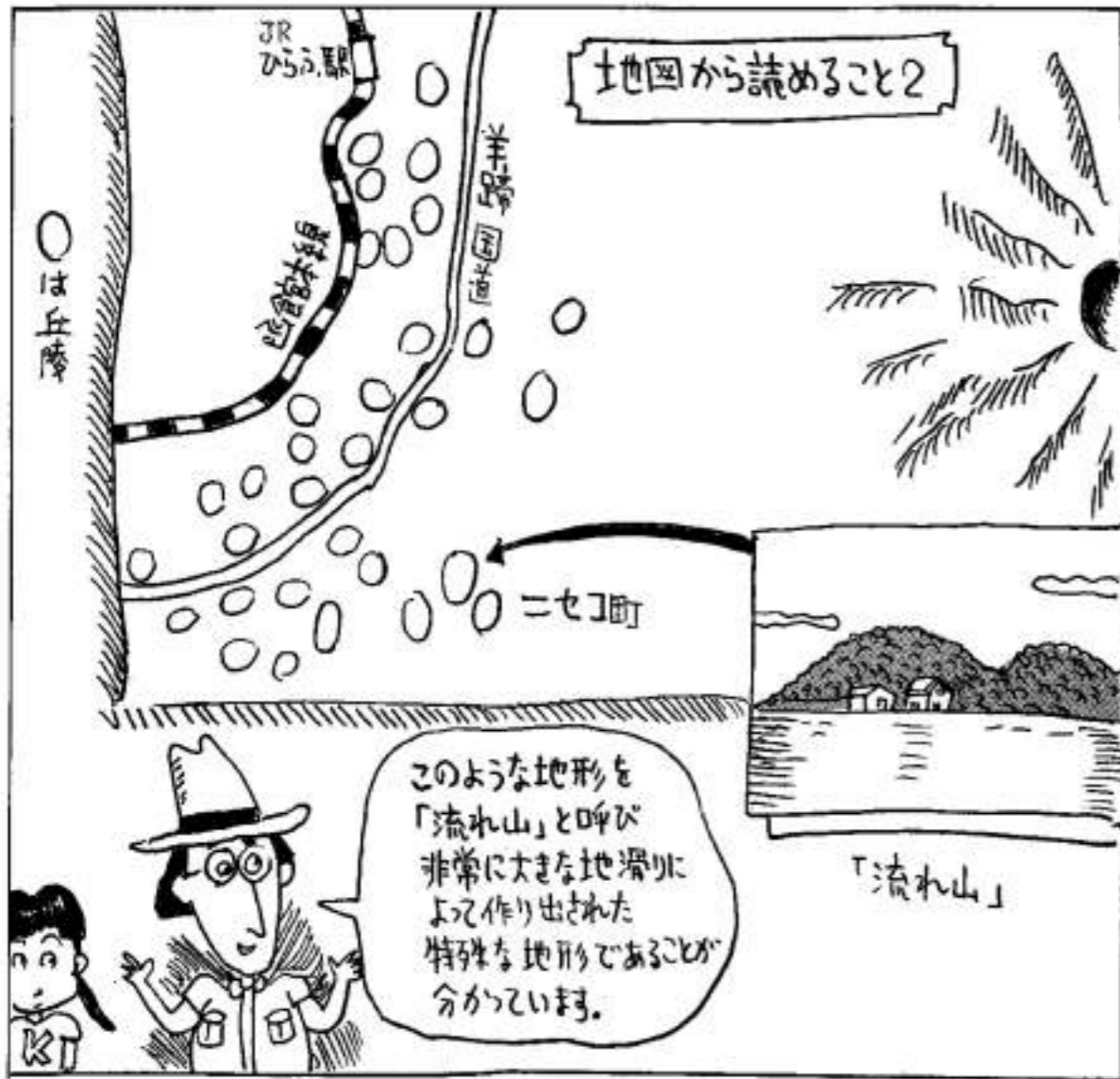
雷電山 (1211) 目国内岳 (1220) ニヌツ (1080) 倶知安町

ホトだ

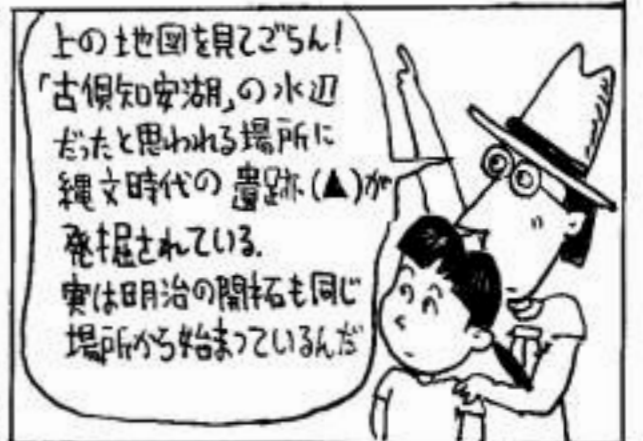
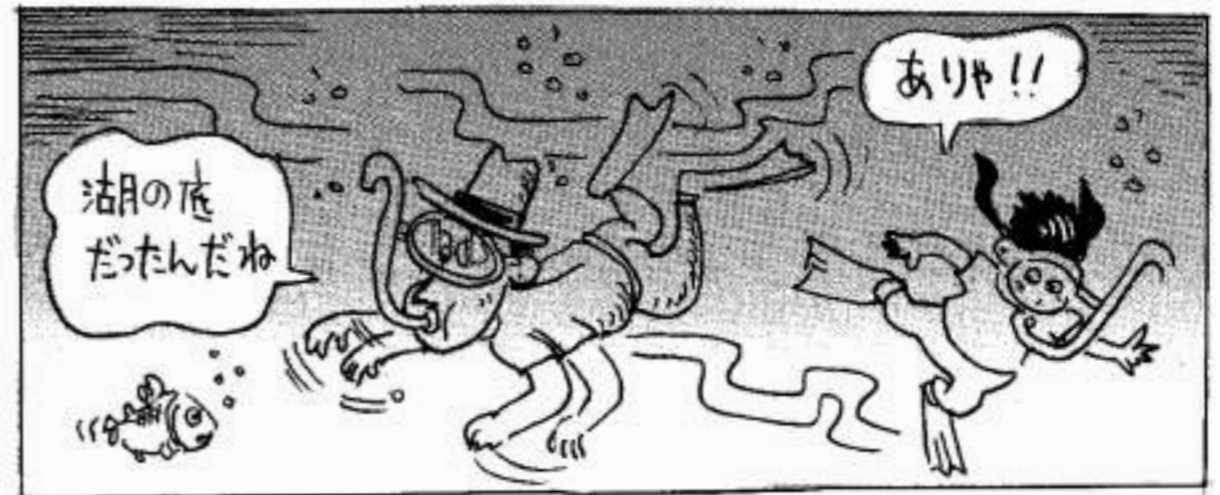




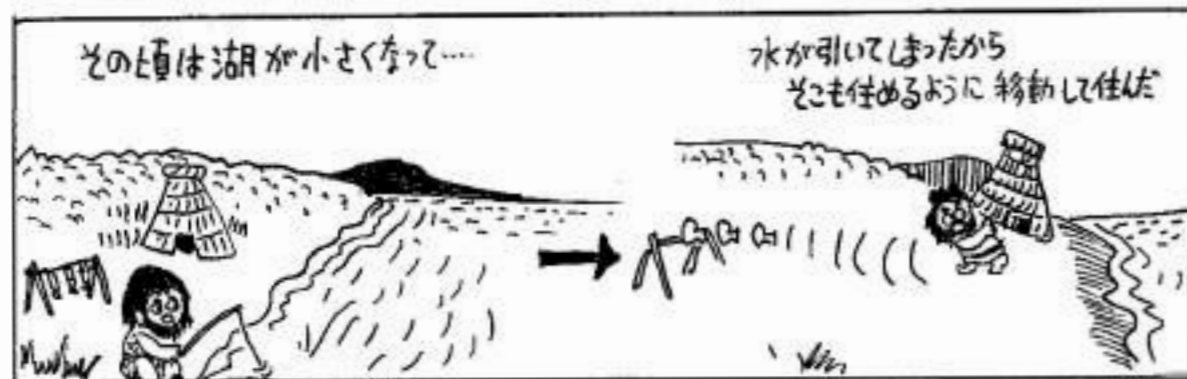




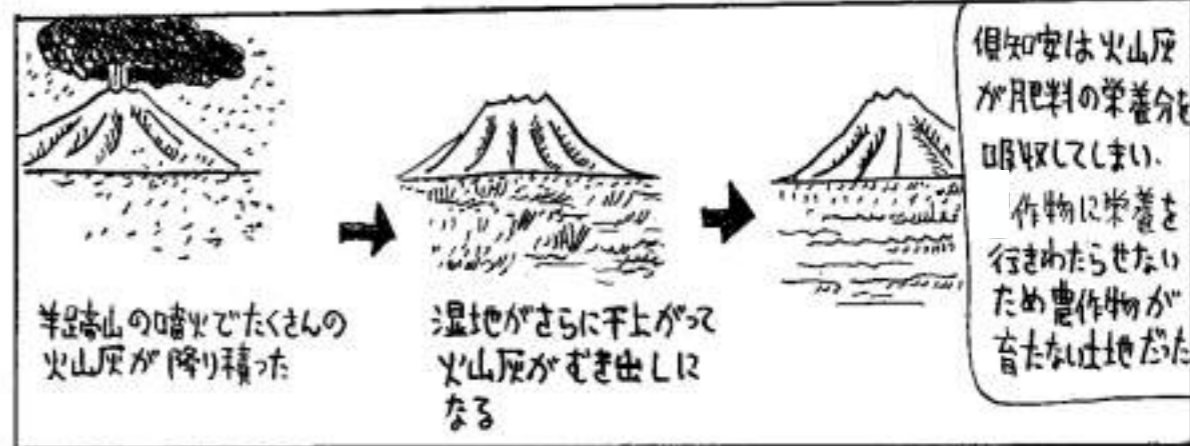
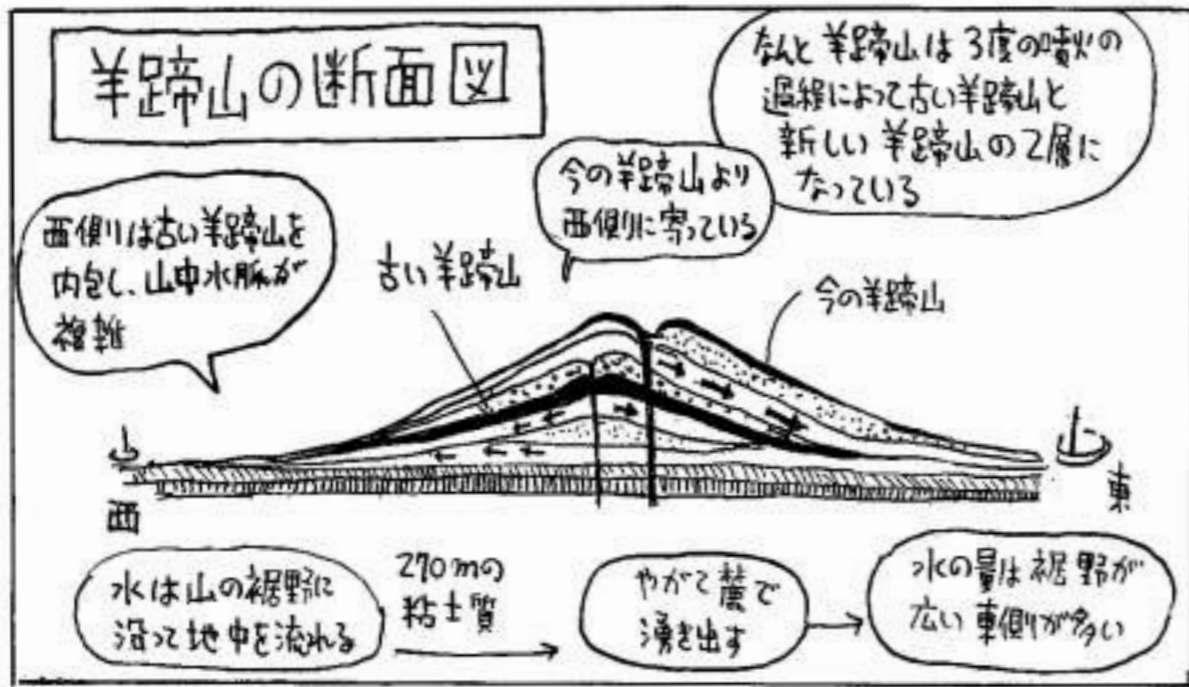
















漫画くっちゃん昔ばなし  
第1章「羊蹄山と俱知安」  
2017.1.15

制作：一般社団法人 俱知安観光協会  
監修：俱知安風土館  
漫画：石川寿彦  
編集：有限会社エーピーアイ  
©2017一般社団法人 俱知安観光協会